

平和の一声

全国から公募で選ばれ、核兵器のない平和な世界を目指し活動している「高校生平和大使」。第24代新潟県高校生平和大使の曾根俊太郎さんからメッセージをいただきました。

「自分の意思を声にすること。」私が平和大使として活動する中で最も大切にしてきたことです。

ロシアによるウクライナへの侵攻をはじめ、今も世界のいたる所で武力紛争が起きています。武力による争いは、悲しみと憎しみしか生み出しません。対話を通じて解決することが、唯一の方法なのです。現実に行き詰っていることに興味を持つこと、「戦争反対・核廃絶」の声を上げることは私たちにできる唯一の方法であり、最も影響力のあることだと確信しています。

小・中学生、高校生の皆さん、専門家になれという話ではありません。どんな切り込み方でもいいんです。社会問題や政治に一度目を向けてみてください。そして、何か自分の中で思うことがあればそれを声にしてください。誰かに伝えてください。私たちがこれから生きていく世界のために。



▲曾根俊太郎さん



▲高校生1万人署名活動の様子

当市は、世界の全ての国が核兵器を速やかに廃絶し、平和な国際社会が築かれることを求め、平成9年に「核兵器廃絶平和都市」を宣言しました。この宣言に基づいて、さまざまなイベントを行っていますので、ぜひご参加ください。

しばた平和のつどい

時 8月10日(土)午後1時30分～4時

所 生涯学習センター

内

▼平和DVD上映会

▼広島平和記念式典に参加した生徒の感想発表

▼平和祈念講演会…佐々木雅弘さんによる講演「禎子から見た -ウクライナとロシアの戦争と平和-」

申 右記の二次元バーコードまたは電話で申し込みください

申問 人権啓発課人権啓発係(☎28-9630)



▲申込み用



▲佐々木雅弘さん

【講師プロフィール】

▼NPO法人

SADAKO LEGACY 理事長

▼社団法人 禎子の折り鶴 代表

「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんの兄。日本各地の学校、地方自治体などで講演を行っている。

中央図書館特設コーナー「考えよう。戦争と平和」

時 8月17日(土)まで

内 原爆・戦争・平和に関する図書の特設コーナーを設置し、絵本や写真集から一般書まで、幅広く展示しています。貸し出しもできます

原爆資料パネル展

時 8月3日(土)～17日(土)

所 ヨリネスしばた札の辻ラウンジ

内 「ヒロシマ・ナガサキ原爆ポスター」の展示、市民団体の作品展示 など

平和について考える

77年目の夏を迎えて

問合せ先 人権啓発課人権啓発係(☎28-9630)

1945年8月、日本は原子爆弾の投下によって甚大な被害を受け、たくさんの尊い命が一瞬で奪われました。あの夏から77年目の夏を迎えます。

終戦から77年を迎えようとしている今、核兵器の恐ろしさを体験した人が少なくなっている一方で、世界ではいまだにたくさんの核兵器が存在し、再び私たちの「平和」が奪われる可能性は残り続けているのです。

平和な世界を守るために私たちができることの一つは、次の世代にその記憶を引き継ぎ、「核兵器のない世界を目指す」活動を続けていくことです。過去から核兵器が生み出す悲惨さを学び、その悲劇を二度と繰り返さないよう、一人一人が平和の大切さについて認識し、自分たちができることをやっていきたいと思いますか。

世界の核兵器保有数 (2021年1月時点)

国名	核兵器数
米国	5,550
ロシア	6,255
その他	1,276
合計	13,080

その他=英国、フランス、中国、インド、パキスタン、イスラエル
※北朝鮮は不明確なため含まれていない。合計は、一の位を四捨五入した値を公表値としている

(参考:「国際平和拠点ひろしま」ホームページ)

